

鵜住居地区住民説明会
(復興まちづくり協議会・地権者連絡会)

平成26年8月10日(日)

18:30～20:00

次第

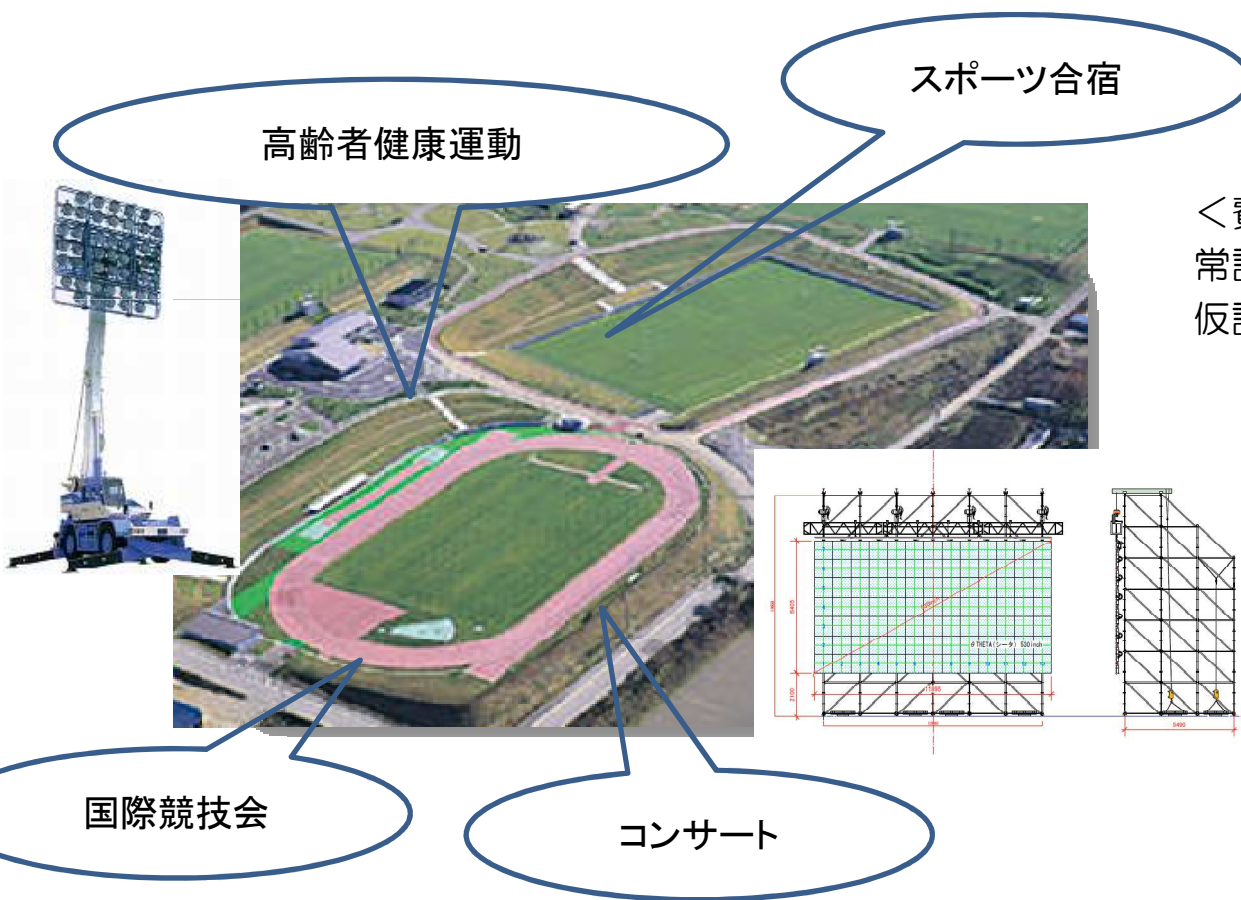
1. 挨拶
2. ラグビーワールドカップ開催都市立候補について
3. 意見交換

2. ラグビーワールドカップ開催都市立候補について

スポーツ公園整備イメージ

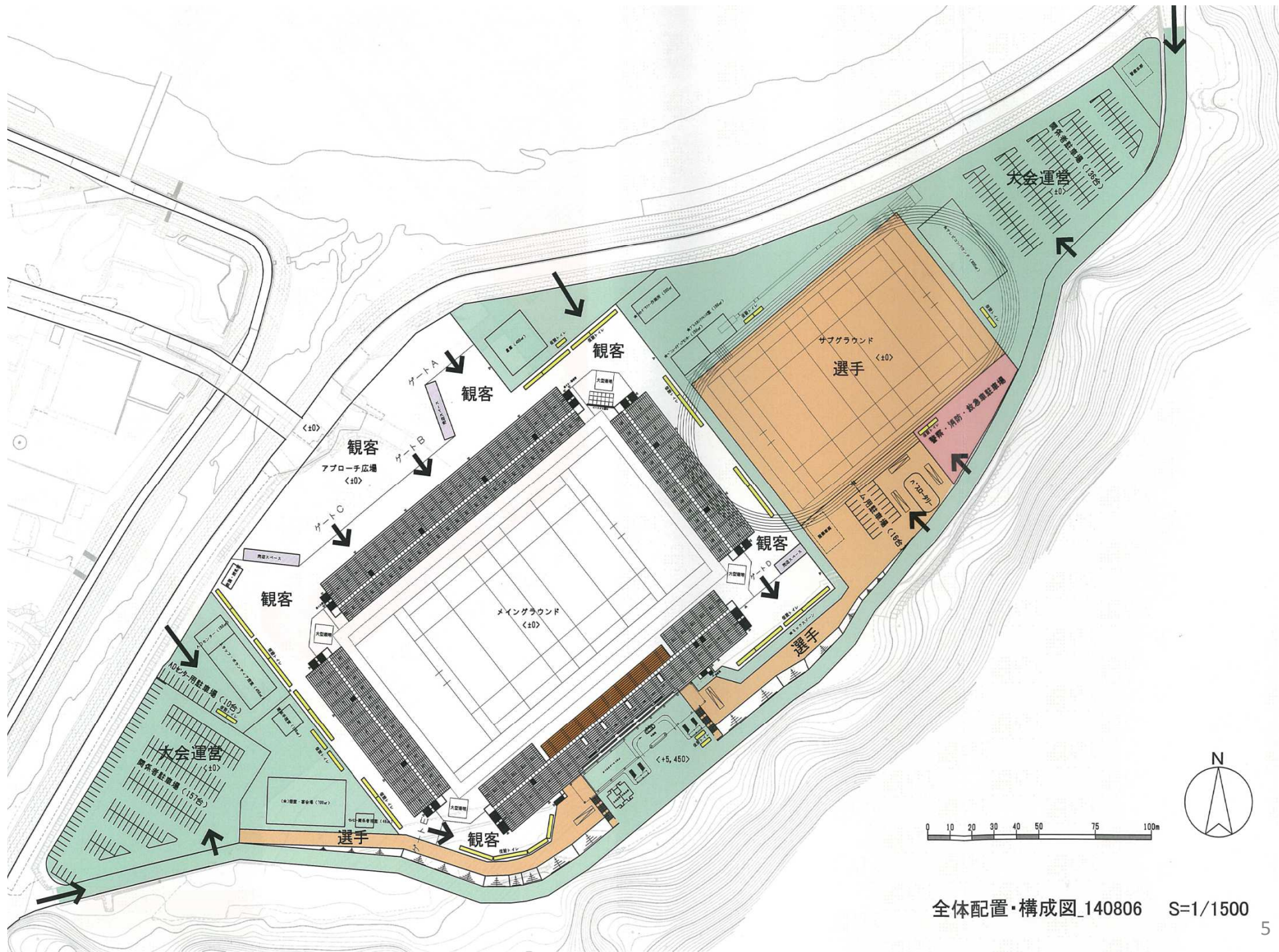
＜釜石市鶴住居スポーツセンター(仮称)＞
 メイングラウンド、サブグラウンド
 陸上トラック(400m×6コース)

震災で失った体育施設の面積相当の敷地として、鶴住居小、釜石東中跡地に、復興資材で土地をかさ上げして、ラグビー場1面と陸上トラックを有したサブグラウンド1面分の広場を建設します。



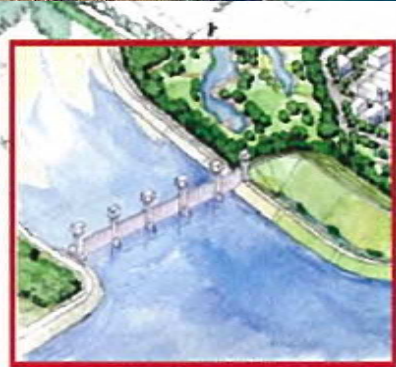
＜費用概算＞ (単位：百万円)

常設施設建設費		867
仮施設費用	スタンド	126
	照明	60
	スクリーン	78
	テント・プレハブ	87
	合計	1,218



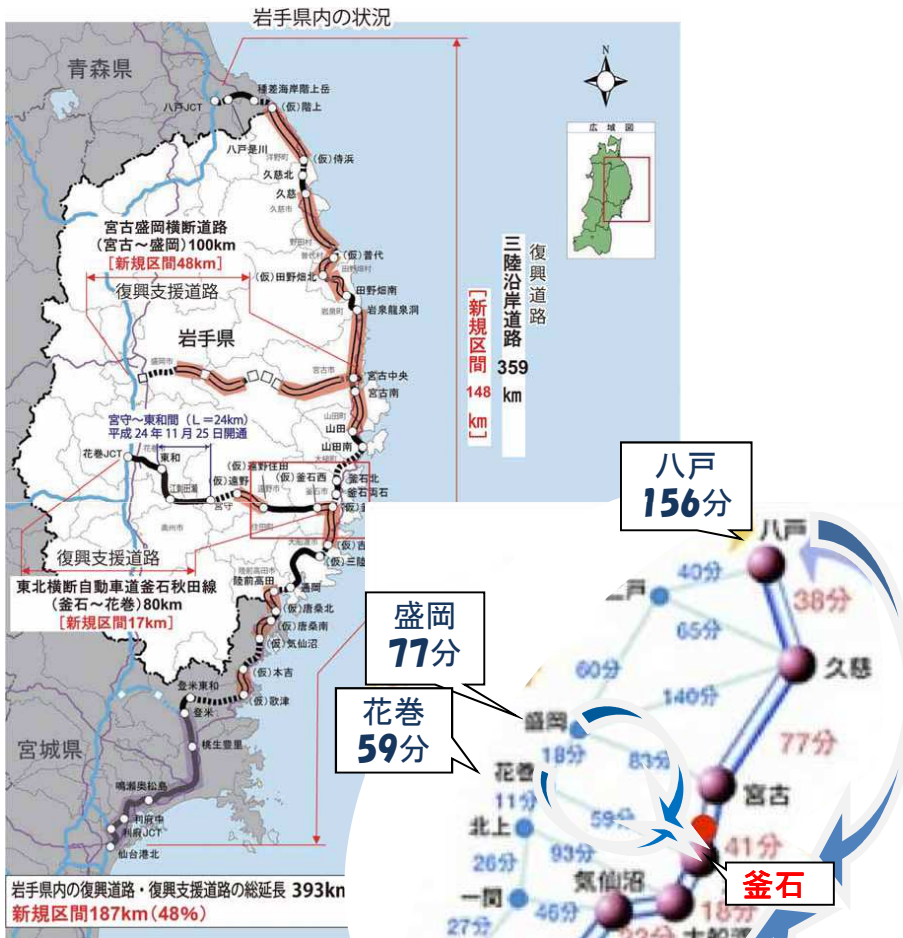
全体配置・構成図_140806 S=1/1500

取り巻く環境 安全で守られる場所 ～水門、防潮堤2018年完成～



鶺住居川河口に水門と
セットで防潮堤を設置
整備高さT.P.(標高)14.5m
※現況防潮堤高さ標高6.4m
(約8.1mのかさ上げ)

取り巻く環境 震災復興道路の整備によりアクセス向上 ～復興道路・復興支援道路2018年完成～



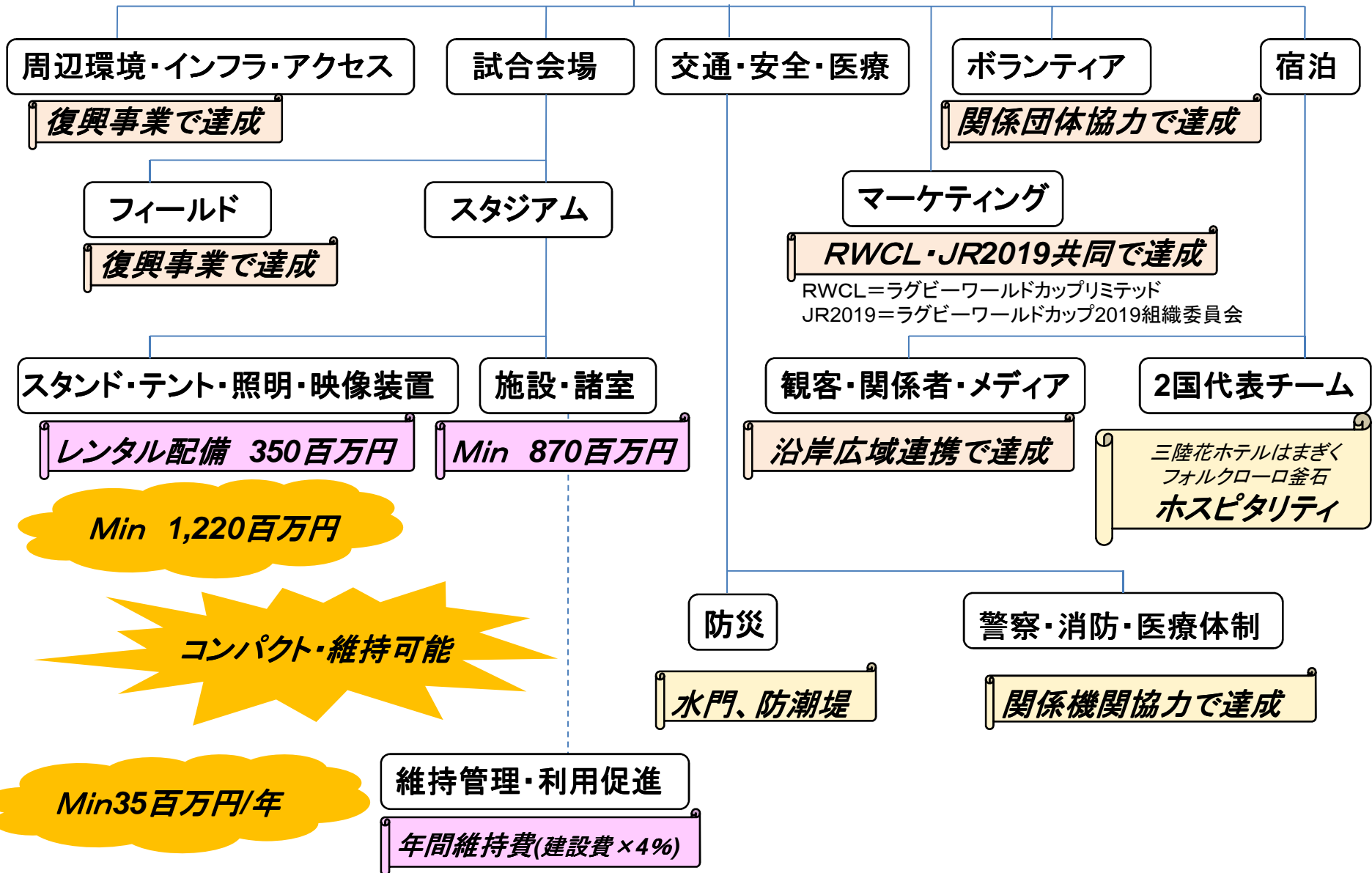
三陸沿岸道路、
東北横断自動車道釜石線
平成30年(2018年)完成予定

沿岸道路開通後は、東北自動車道に直結し、
東北新幹線からのアクセスが短縮
仙台空港から所要時間2時間余り
花巻空港から1時間内

＜鉄道＞

三陸鉄道が完全復旧 (H26.4)
JR東日本による山田線復旧後の
沿岸市町村 と第三セクターへの譲渡案提示

釜石市が考えるRWC2019開催都市立候補に必要な要素



釜石市鶴住居スポーツセンター(仮称) フル活用タイムライン



ラグビーワールドカップ2019

東京オリンピック・パラリンピックサテライトイベント

7'Sラグビー国内・国際大会

ジャパンラグビートップリーグ

ラグビー国際交流試合

オックスフォード/NZ/France/Aus

小中高競技会・合宿
大学社会人ラグビー招待試合・合宿

2016

2017

2018

2019

2020

2021

2022

2023

2024

2025

Jリーグエキジビジョンマッチ

女子サッカーワールドカップ

国際ウオータースイム大会

国際スポーツコンベンション

はまゆり国際トライアスロン大会

国際防災コンベンション

希望郷いわて国体

ラグビーワールドカップ2019釜石開催実現計画(案) 2014年～2016年

【2014年10月:立候補】～【2015年3月:開催地決定】【10月:RWC2015London】～【2016年8月:リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック】【10月:いわて希望郷国体】

	2014年												2015年												2016年											
	2Q			3Q			4Q			1Q			2Q			3Q			4Q			1Q			2Q			3Q			4Q					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
折衝・渉外	岩手県との連携折衝												スポーツ公園整備計画						スポーツ公園利用計画						利用計画実施											
	JSC助成金折衝						JSC助成制度						JSC助成申請・事業実施																							
建築整備	スタジアム構想・設計						立候補						開催地決定						スタジアム整備・基本設計・実施設計						スタジアム建設工事											
	鶴住居公園整備・基本設計						鶴住居公園整備・実施設計						鶴住居公園整備工事																							
組織	誘致推進						開催準備						運営会社																							
	誘致推進委員会			誘致推進委員会			開催準備委員会			開催準備委員会			開催準備委員会			運営会社への委託																				
アドボカシー マーケティング	パブリックコンペ			決定後の態勢						パブリックコンペ当選プランの実現化						運営会社始動																				
	ファンドレイジング募集									ファンド設立									運営会社始動																	
	マーケティングプラン			企業協賛の態勢						マーケティング会社			企業協賛 営業実施																							

アドボカシー(市民運動):

- スタジアム活用のパブリックコンペ
どんな施設を、どう使っていか、市民からアイデア募集
☆アイデアだけ、年齢制限なし、懸賞付き(20.19万円など)
- スタジアム建設基金のファンドレイジング募集
どんな風にムーブメントをつくりながら募金を集めるか
☆復興、地域観光、スポーツ振興

マーケティング(企業協賛):

- 企業協賛プログラム
☆スタジアム建設基金への企業協賛

アセットマネジメント(維持管理):

- 民間の資金、経営能力、技術を活用
(PFI:プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)
- 再生エネルギー活用
(ESCO:エネルギー・サービス・会社の事業機会)
- 市民、地域住民、NPOの参画
(PI:パブリック・インボルブメント、市民関与とニーズ把握)
- 大槌町、山田町、宮古市、大船渡市を含めた利用計画
(県と市町村の広域ゾーニング)

3. 意見交換
